

タイトル セカンドライフの居場所づくりは庭との一体感を楽しむことから・

設計 (株) 育暮家ハイホームス 施工 (株) 育暮家ハイホームス

タイプ 持家一戸建

構造 在来木造、コンクリート造

講評 リタイアして家で過ごす時間が増えた夫婦には、長く居る場所を快適に整えることは非常に重要である。部分リフォームで温熱環境を改善し、庭との関係が心地よい時間を作り出した様子がわかる。テイストの統一で落ち着いた空間にまとめていることも評価できる。

リフォーム前後の写真



温度の実測ビフォア&アフター

①



お庭の四季も豊かで、大好きなものに囲まれているお気に入りのリビング。寒さの原因だった嵌め殺しと引き違いの窓を撤去し、ウインドキャッチャーとアルミ複合LOWEガラスのサッシに取り換え。通風改善と断熱強化となった。暖房はホットカーペット+石油ストーブから、床の断熱強化と省エネAC床暖に。



②



③

コの字型に囲まれた土間タイル張りのテラスは、物干し場から第2のダイニングになりました。ここは、お庭の緑に近くなり、冬には太陽が暖かく入り、夏の日中は庭の落葉樹の木漏れ日、日差しが強い朝日と夕日はコの字型が嬉しい、カットされる、四季が飛び込む居場所です。



⑤



c



④

ダイニングキッチンとサンルームの境は既存のアルミサッシを撤去し木製LOWE引き戸で断熱区画。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

■リフォームの動機 子どもたちも巣立ち、夫もリタイア。

夫婦で家にいる時間が長くなり、お互いの居場所は夫がリビング、私はDK。でも、リビングは寒いし、DK前のテラスも何か半端、何とかしたい。

■設計・施工の工夫点 ①リビング…お庭を楽しむために設計されたと思われるリビングに広がる大きな窓。

「寒い部屋です。特に床に座った時」と言われ、すぐさま「この窓が原因です!」と答えた。庭の涼風を採り込むウインドキャッチャー

機能と断熱性能の良いサッシに取り替えた。

②サンルーム…DKの狭さと暗さを、DK拡張サンルームでカバー。夏のリスクを減らす為、温熱境を明確にし、庭に大きく育った落葉樹の季節変化を利用して太陽をコントロールした。

■施主の感想・満足点

リビングはソファに座っていてもソクソクする寒さがなくなり、床暖房も快適。サンルームは夫が気持ちいいと朝刊を読む場になって、予期せぬ居場所の奪い合いもうれしい。

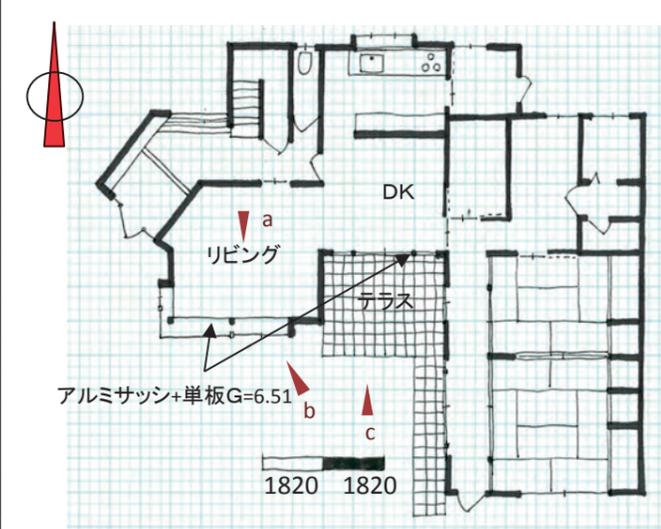
性能向上の特性
温熱性能 リビング窓断熱性能向上 uw=2.33・DK~サンルームサッシをアル単板Gから木製lowe uw ≒ 2.2

特に配慮した事項
このリビングの魅力は庭との一体感。そこに自然風を取り込む窓機能と断熱性能を優先し、更に四季を楽しめる居場所にした。開閉も負担になる内窓の選択肢はなかった。

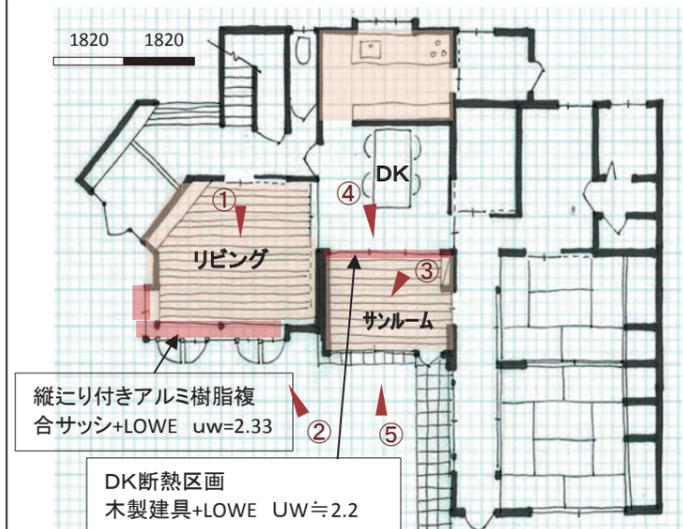
lw 値
リフォーム前 1
リフォーム後 1

データ	
所在地 静岡県静岡市	新築竣工年 1987 年 築後年数 32 年 施工期間 50 日間
該当工事床面積 33.89 m ² / 総工事床面積 33.89 m ²	該当部分工事費 950 万円 / 総工事費 950 万円
居住者構成 65 歳以上 : 2 人 / 15 ~ 64 歳 : 0 人 / 15 歳未満 : 0 人 /	

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位 : ■居室/ ■台所/ □浴室/ □便所/ □洗面所/ □廊下/ □階段/ □玄関/ □クローゼット/ □共用部分/ □その他